

薬理学

【通年】集中

池田 康将、船本 雅文

ここで紹介された資料は蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにありますので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

(参考書)

□ **Basic & clinical pharmacology 16th ed / T.W.Vanderah 2024**

→ 米国医学部の薬理学教育に使用されている標準的な教科書。医学英語に親しむためにも是非この本で勉強して欲しい。日本語訳もあるが版がかなり古いので注意。(カッツング薬理学 エッセンシャル 原書 10 版)

【491.5||Ba】

□ **エース薬理学 / 安西尚彦、安藤仁、浅井聰編集 南山堂 2020**

【491.5||Es】

★ 蔵本 2 階生命科学閲覧室にもあります

【電子書籍 <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000093590>】

□ **Flash 薬理学 : 詳しすぎず、易しすぎない、効率重視の薬理学 改訂版 / 丸山敬、淡路健雄編 羊土社 2025**

→ 上記 3 つは平易な内容で比較的ページ数も少ないため、薬理学を学ぶ最初の 1 冊としておすすめできます。

【491.5||FI】

□ **Goodman & Gilman's the pharmacological basis of therapeutics 14th ed / Brunton, Laurence L., Ph.D. (EDT) Chabner, Bruce A. (EDT) Knollmann McGraw-Hill 2023**

→ 世界的な薬理学の教科書。医学生にとっては内容が豊富すぎる感はあるも、卒業後も臨床業務時に辞書的に活用できる。一つ前の版の日本語訳もある。

(グッドマン・ギルマン薬理書 <上> <下>—薬物治療の基礎と臨床 原書 12 版)

【491.5||Go】

□ **Katzung & Trevor's pharmacology 14th ed / examination & board review McGraw-Hill Medical 2021**

→ 上記” Basic & Clinical Pharmacology..” のエッセンシャル版で、重要項目が明解かつ簡潔に要約され、フルカラーの大きい図でわかりやすく解説されている。前の版の日本語訳もある。

(カッツング薬理学 エッセンシャル 原書 12 版)

【491.5||Ka】

□ **カラー新しい薬理学 / 石井邦明、西山成監修 西村書店 2018**

【491.5||Ka】

★ 蔵本 2 階生命科学閲覧室にもあります

□ **New 薬理学 改訂第 8 版 / 田中千賀子、加藤隆一編 南江堂 2025**

→ 日本語の医学生用薬理学教科書の代表的な 1 冊。受容体や細胞内情報伝達機序などの生化学的な作用機序の記載が優れている。

【491.5||Ne】
